



2025/06/09 HP掲載

第59回 日本包装管理士会定時総会 議案書

2025年6月24日(火) 15時30分～17時

議決方式：集会、Web、個別審議・郵便投票による議決権行使の併用

Web配信会場：アットビジネスセンター池袋駅前 別館 804室

1. 議案

第1号議案 2024年度事業活動報告及び収支決算報告承認の件

第2号議案 2024年度監査報告承認の件

第3号議案 2025年度事業活動計画(案)及び収支予算(案)審議の件

第4号議案 IPP再構築WG会議報告と提案審議の件



つつむ君

日本包装管理士会

ご挨拶

会員各位

日頃より、日本包装管理士会の活動に対し、格別のご支援とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

第59回の本部総会開催にあたり、以下の通り議案をご案内申し上げます。

会員の皆様には、慎重なご審議の上、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本会ではこれまで、包装に関する知識の普及、人材育成、そして会員相互の親睦の促進を目的に、さまざまな活動を展開してまいりました。こうした取り組みは、会員の皆様の熱意とご尽力に支えられており、改めて深く感謝申し上げます。

また、一昨年より、本部に設置された「再構築委員会」を中心に、全国の支部から委員を募り、会員数の減少や役員の高齢化といった課題を共有しながら、今後の運営のあり方について幅広く意見を集約し、検討を重ねてまいりました。中でも最も重要な課題は「会員の減少」であり、ippニュースでもお伝えした通り、委員会では「会員増強」を主要な目的として明確に掲げ、継続的な議論を行ってまいりました。

これを受け、今期(第59期)より、支部単独での運営体制を見直し、本部と支部が連携する新たな運営体制への移行を進めてまいります。

この取り組みは、組織全体の連携を強化するとともに、魅力ある事業の展開を通じて、会員の主体的な参画を引き出すことを目指すものです。

引き続き、本会の活動に対しまして、変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

令和7年6月24日

日本包装管理士会会長 古平篤

第1号議案 その1 【2024年度事業活動報告】

1. 会員動静2025年4月30日現在

(1) 正会員

支 部 名	2025. 4. 30 会員数 *1)	59期仮会員 *2)	会員数増減 *3)
北 海 道	23	0	- 1
東 北	43	2	- 7
関 東	214	2	- 6
中 部	118	7	- 9
関 西	77	10	- 5
西 日 本	29	7	- 1
合 計	504	28	- 29

*1)今年度会費納入済み会員数 *2)期末登録済み仮会員数

*3)入金済み会員数増減

2. 総 会

(1)実施日時 : 2024年6月25日(火) 15時 開会

(2)方 法 : 集会方式と個別審議・郵便投票およびWeb参加の併用による開催

3. 理 事 会 : 期初開催の臨時理事会1回を含め年間7回の理事会開催した。

回	実施年月日	場 所	主な内容
1	2024. 5. 11(土)臨時 10:00~12:00	Web会議	1. 2024年度新役員業務分担の調整
2	2024. 5. 25(土) 10:00~12:00	Web会議	1. 2023年度収支決算報告・2024年度予算確認 2. 定時総会対応(議案書の確認) 3. 2024年度事業活動計画の確認 4. その他
3	2024. 7. 27(土) 10:00~12:00	Web会議	1. 各種委員会の設置について 2. 再構築WGのすすめ方(資料添付) 3. 東京パック2024 IPP小間の概要について 4. 収支報告 5. その他
4	2024. 9. 14(土) 10:00~12:00	Web会議	1. 59期包装管理士講座修了者対応 2. 2024東京パック関連 3. 遠隔地理事の交通費補助について 4. 2024包装界・10大ニュース公募の件 5. 2025合同新年会共催参加について 6. IPP再構築委員会WG経過報告 7. ホームページワードプレス更新業務委託の件 8. 収支経過報告 9. その他
5	2024. 11. 23(土) 10:00~12:00	アットビジネスセンター 池袋別館601会議室 Web併用会議	1. 10大ニュース選定について 2. IPP再構築会議経過報告 道明委員長 3. 収支概況 4. その他
6	2025. 2. 15(土) 10:00~12:00	Web会議	1. 各事業活動の現況確認 2. その他
7	2025. 3. 29(土) 10:00~12:00	Web会議	1. 定時総会対策・決算予測 2. 新年度事業活動計画の検討 3. 新年度予算案の検討 4. 基金取り崩しの件 5. その他

4. 2024年度事業活動報告

重点課題4項目を踏まえ、活動した(進捗状況は下表)。

1. IPPの再構築…支部制、予算配分の見直し、全国単位の会員向け事業の推進について、ワーキング委員会を継続して再構築案を検討し結論を出す。
2. 会員の自己研鑽をフォローするための活動を行う
3. 包装界の動向を把握し、会員の指針となるように情報を発信する
4. 関連機関との連携活動の推進

事業	2024年度事業活動計画	2024年度事業活動／経過報告
総務 (事務局)	1. 会員メールアドレス情報の活用継続。 2. 包装管理士合格者上司へIPP活動PRを継続し、新合格者の入会促進を図る。 3. IPPの再構築について、ワーキング委員会を継続して再構築案を検討する。 4. (公社)日本包装技術協会(JPI)及びJPI関連包装4団体との交流を推進する。東京パック開催には、本部に東京パック委員会を置き積極的に協力する。 5. 「包装界10大ニュース選定委員会」「東京パック委員会」など委員会活動を積極的に推進する。	1. 会員メールアドレス宛に活動情報を発信するなどの活用を継続した。 2. JPI包装管理士講座事務局発信の上司宛文書に入会勧誘書を同封していただいた。 3. IPPの再構築について、ワーキング委員会の検討を2024年度も継続し、4月8日開催のリアル会議において報告をまとめた。 4. (公社)日本包装技術協会(JPI)及びJPI関連包装4団体との交流を推進した。 5. 委員会活動として、「東京パック委員会」では2024東京パックテクニカルセミナー実施に4名の講師派遣で協力した。(委員長:須藤理事)。「包装界10大ニュース選定委員会」は公募提案から10件を選定し公表を行った。
財務	1. 支出の使途を工夫するとともに、タイムリーに収支の把握と検討を行う。	1. 理事会において直近の収支状況を報告し計画通り事業が遂行され、支出が行われたことを確認した。
広報	1. IPP内コミュニケーションのWEB展開と情報共有のDX化は、継続検討する。 2. 見学会・研究会等の案内をJPI包装技術誌に継続掲載し、内容の充実を図る。 3. ippニュースの定期発行は、年2回行う。 4. 「10大ニュース」の公募・選定結果をタイムリーにホームページで告知する。 5. ippニュース編集委員会はIPPラウンジを継続的に開催する。目標として年間2回以上のラウンジ開催を目指す。	1. IPP内コミュニケーションのWEB展開と情報共有のDX化は、IPP再構築委員会においてその重要性について話し合いが行われた。2025年度に新たな方策を提案することとなった。 2. セミナーや10大ニュース記事などの事業展開をJPI包装技術誌に掲載し、広報活動を充実させることができた。 3. 「ippニュース」を年2回発行した。夏号、冬号とも電子発行で実施した。 4. 「10大ニュース」は、一般会員参加の「選考委員会」を設置し、公募および選定結果をIPPのホームページと「ippニュース」で告知した。また、JPI包装技術誌や業界紙「包装タイムス紙」にも掲載していただいた。特にJPI包装技術誌では、「10大ニュース」の特集を組んでいただき、IPPの事業を広く伝えることができた。 5. 2024年度 IPPラウンジは2回開催した。出席者は7名程度と少人数に留まったが、充実した会を催すことができた。

5. 2024年「包装界・10大ニュース」の選定

【日本包装管理士会選定「2024包装界・10大ニュース」】 選定された項目(説明文省略)

1. 国内各企業が、水平リサイクル、剥離・分離等の技術開発により、資源の再利用に注力中
2. 物流の2024年問題
3. 企業間や自治体等の横断的な協働作業が進展。更なるリサイクルの広がり等を期待
4. 海外包装規制の動き
5. 進む植物由来プラスチックの実用化
6. 食品による健康被害の防止強化のため、食品表示基準の一部改正
7. 医薬品包装用高防湿シートの開発
8. レアメタル不要の新PET製造技術を開発
9. 段ボール製緩衝材の使用増加
10. 2024東京国際包装展開催、盛況裡に閉幕

6. その他の活動

1) 支部との交流／IPP再構築WGの活動

・IPP再構築検討委員会WG会議開催により、本部・支部間および委員間の交流が進められた。

2) JPI及び包装関連団体との交流

・TOKYO PACK 2024に四団体協力して参加する / 2024年10月23日(水)～25日(金)

①メインテーマ : 『世界が驚く包装イノベーションを！ — TOKYO PACKから世界へ — 』

②4団体でテクニカルセミナーを実施(各団体4テーマ、全体で16の講演会)

IPPからは次の4氏を講師として派遣した。

イ)鈴木雅彦氏 「包装で改善する2024年問題」

ロ)古井真夫氏 「環境問題対応としての包装設計の在り方」(発泡スチロールの場合)

ハ)山田孝志氏 「医薬品のサプライチェーンマネジメントについて

～医薬品の適正流通(GDP)ガイドラインの概要～」

ニ)井上伸也氏 「段ボール包装の設計と最新動向」

3) 本部主催セミナーおよび委員会活動

・59期包装管理士歓迎セミナー

①日時 : 2024年11月06日(水) 14:00～15:30

②方式 : Web(ZOOM使用)リモートセミナー 送信会場:アットビジネスセンター池袋別館

③受講者数 : 36名 (受講した59期管理士を仮会員として仮登録)

④講演内容

14時00分～ 開催挨拶 古平会長よりお祝いと歓迎のご挨拶

14時10分～ 日本包装管理士会のご紹介 道明副会長

14時30分～ 講演:「包装管理士が包装で改善する2024年問題」

講師:日本包装管理士会 東北支部長 鈴木 雅彦支部長

・「2024年 包装界・10大ニュース 選定委員会」活動 (一般会員から委員を公募)

①ニュース公募に対して9名の会員から52件の提案があった。

②理事選考委員と会員からの選考委員応募の2名が選考を行った。

・「ippニュース 編集委員会」活動を継続した。(一般会員から委員を公募)

①ippニュース発刊は本部の厳しい財政状況を考慮し、年2回分は電子版へ移行した。

②会員相互の意見交換会「IPPラウンジ」を継続して活動した。

IPPラウンジとはIPP内で提供される特別な待合室。少人数で会員同士が語りあえる場。

・「IPPラウンジ」を2回開催した。

①2025年1月16日(木) 勉強会:15時30分～17時00分、

テーマ:「IPP選定 2024年包装界10大ニュース」の見返し

参加者:6名

②2025年3月19日(木) 勉強会:19時00分～20時30分

テーマ:欧州規制「包装及び包装廃棄物規制(PPWR)」について学習

参加者:7名

第1号議案 その2 【2024年度収支決算報告】

(2025年4月30日現在)

＜収入の部＞

＜支出の部＞

単位:円

科目		予算額	決算金額	大分類	小分類	予算額	決算金額
	北海道	192,000	184,000	支部活動費	北海道	134,400	134,400
	東北	400,000	344,000		東北	280,000	280,000
	関東	1,760,000	1,712,000		関東	1,232,000	1,232,000
	中部	1,016,000	944,000		中部	711,200	660,800
	関西	656,000	616,000		関西	459,200	459,200
	西日本	240,000	232,000		西日本	168,000	168,000
	小計	4,264,000	4,032,000		小 計	2,984,800	2,934,400
				広 報	ippニュース発行 注4	0	0
					包装技術誌	0	0
					理事活動費	10,000	15,490
					小 計	10,000	15,490
東京パック準備金繰越		50,000	50,000	国際交流	東京パック	100,000	102,330
					国際交流調査費	0	0
					理事活動費	10,000	0
					小 計	110,000	102,330
				イベント	歓迎セミナー	0	7,893
					小計	0	7,893
情報システム更新準備金繰越		125,000	125,000	情 報	保守その他	50,000	9,020
					HP設計維持費	20,000	72,648
					情報システム更新	150,000	150,000
					理事活動費	0	0
					小 計	220,000	231,668
				財 務	会費徴収	50,000	15,106
					出納経理	150,000	151,200
					理事活動費	0	0
					小 計	200,000	166,306
				事 務 局	会員管理	50,000	83,000
					総会	200,000	167,319
					交通費補助・会場費	35,000	42,079
					渉外交流	30,000	33,220
その他収入	入会金	0			役員渉外	30,000	8,000
	預金利息	0	291		事務委託手数料	528,220	528,220
	基金から繰入	0	674,404		事務局費	250,000	293,749
	*その他	0	100,000		庶務費	50,000	37,368
	小計	0	774,695		小 計	1,173,220	1,192,955
小 計		4,439,000	4,981,695	小 計		4,698,020	4,651,042
				予 備 費	大阪会合4月6日	-49,211	197,674
				合計		4,648,809	4,848,716
前期繰越金		209,809	209,809	次期繰越金		0	342,788
合 計		4,648,809	5,191,504	合 計		4,648,809	5,191,504

《事業基金積立》

単位:円

*その他収入(その他) 東北支部返金

基金前期繰越金	4,841,843
基金取り崩し	673,429
利息	84
次期繰越金	4,168,498
情報システム準備金	150,000
東京パック準備金	0
預り金繰越	0

貸 借 対 照 表
(2024年4月30日現在)

(単位:円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
現金・預金	492,788	事業基金積立	4,168,498
		情報システム準備金	150,000
		東京パック準備金	0
		預かり金	-
定期預金	4,168,498	次期繰越金	342,788
合 計	4,661,286	合 計	4,661,286

現金・預金内訳

・みずほ銀行 普通預金	431,881 円	(情報システム準備金含む)
・郵便振替口座	28,000 円	
・現金	32,907 円	
合計	492,788 円	(情報システム準備金含む)

定期預金内訳

・三菱UFJ 銀行 定期預金	818,430 円
・みずほ銀行 定期預金	3,350,068 円
合計	4,168,498 円

監査報告書

日本包装管理士会

古平 篤 殿

2025年5月26日、14時より東劇ビル10階の「日本包装技術協会内、会議室」において対面による監査を実施し収支報告書、貸借対照表など関連書類を精査しました。指摘箇所の修正後に再提出された収支報告書を確認しましたところ、会計処理は適正に実施されていることを報告します

また、ippニュースは電子版のみとなりましたが年2回発行され、2024年包装界・10大ニュースは「包装技術」・「包装タイムス」に掲載され、本部理事会も臨時会の開催が行われるなど概ね適切に行われたことを確認しました。

なお、IPP再構築委員会は昨年度から継続して審議を行い、報告書が提出されました。その中の提言事項が報告だけで終わらないように要請します。

2025年5月28日

監事 山田孝志

第3号議案 その1 2025年度事業活動計画(案)

<重点課題>

1. IPP再構築委員会の提言事項を踏まえ、支部運用の転換を円滑に進めるため、2025年度を準備期間として位置付け、協力して運用体制の見直しを図る。
2. 会員の自己研鑽をフォローするための活動を行う
3. 包装界の動向を把握し、会員の指針となるように情報を発信する
4. 関連機関との連携活動の推進

<2025年度事業活動計画(案)>

事業	事業活動の内容
総務 (事務局)	1. 会員メールアドレス情報の活用継続と新システム導入検討。 2. IPP再構築委員会は2024年度を持って活動を終了した。提言を受けて、新たに委員会を設置し、運営体制の見直しおよび会員増強に向けた施策を検討する。 3. 包装管理士合格者上司へIPP活動PRを継続し、新合格者の入会促進を図る。 4. (公社)日本包装技術協会(JPI)及びJPI関連包装4団体との交流を推進する。東京パック開催には、本部に東京パック委員会を置き積極的に協力する。 5. 「包装界10大ニュース選定委員会」「東京パック委員会」など委員会活動を積極的に推進する。
財務	1. 支出の使途を工夫するとともに、タイムリーに収支の把握と検討を行う。
広報	1. 再構築委員会の提言を踏まえ、WEB展開・会員向け告知・DX対応に関する方策を策定し、実行に移す。 2. 見学会・研究会等の案内をJPI包装技術誌に継続掲載し、内容の充実を図る。 3. ippニュースの定期発行は、年2回行う。 4. 「10大ニュース」の公募・選定結果をタイムリーにホームページで告知する。 5. IPPラウンジ(交流勉強会)を継続的に開催する。目標として年間2回以上のラウンジ開催を目指す。

<理事会 開催予定>

1. 理事会:原則として下記予定表の通り開催する。必要に応じて臨時会議を開催する。
2. 日時及び開催場所は都合で変更する場合がある。

回	開催月日	場所	主な内容／別に収支状況確認は毎回実施
1	2025.5.24.(土) 10:00～12:00	Web(ZOOM)	1. 2024年度収支決算報告・2025年度予算確認 2. 定時総会対応(議案書の確認) 3. 2025年度事業活動計画の確認 4. その他
2	2025.7.26(土) 10:00～12:00	Web(ZOOM)	1. 各種委員会設置について 2. その他
3	2025.9.13(土) 10:00～12:00	Web(ZOOM)	1. 60期包装管理士講座修了者対応 2. その他
4	2025.11.22(土) 10:00～12:00	アットビジネスセンター 池袋別館 Web併用	1. 10大ニュース選定について 2. 予算進捗状況のチェック 3. その他
5	2026.2.14(土) 10:00～12:00	Web(ZOOM)	1. 各事業活動の現況確認 2. その他
6	2026.4.4(土) 10:00～12:00	Web(ZOOM)	1. 定時総会対策・決算予測 2. 新年度事業活動計画の検討 3. 新年度予算案の検討 4. その他

第3号議案 その2 2025年度収支予算(案)

(2024年5月1日～2025年4月30日)

<収入の部>

<支出の部>

単位:円

収入の部			支出の部		
科目		予算金額	大分類	小分類	予算金額
年会費 注1)	北海道	184,000	支部活動費 注2) 注6)	北海道	128,800
	東北	344,000		東北	240,800
	関東	1,712,000		関東	1,198,400
	中部	944,000		中部	660,800
	関西	616,000		関西	431,200
	西日本	232,000		西日本	162,400
	小計	4,032,000		小計	2,822,400
			広報	ippニュース発行 注4)	0
				包装技術誌	0
				理事活動費	10,000
				小計	10,000
東京パック準備金繰越		0	国際交流	東京パック	50,000
				国際交流調査費	0
				理事活動費	10,000
				小計	60,000
			イベント	歓迎セミナー	0
				小計	0
情報システム更新準備金繰越		150,000	情報	保守その他	50,000
				HP設計維持費	20,000
				情報システム更新	150,000
				理事活動費	0
				小計	220,000
			財務	会費徴収	50,000
				出納経理	150,000
				理事活動費	0
				小計	200,000
			事務局	会員管理	80,000
				総会	200,000
				交通費補助・会場費	35,000
				渉外交流	30,000
				役員渉外	30,000
その他収入	入会金 注3)	0		事務委託手数料	528,220
	預金利息	0		事務局費	250,000
	基金から繰入	0		庶務費	50,000
	その他 注5)	0		その他	0
	小計	0		小計	1,203,220
小計		4,182,000	小計		4,515,620
前期繰越金		342,788	予備費		9,168
合計		4,524,788	合計		4,524,788

注1. 会費収入予算は年度末(2025年4月30日現在)会費納入済み会員数で立案

注2. 支部活動費は会費の70%。

注3. 新規入会金は現在免除中です。

注4. 支出予算・広報・ippニュースは、2回発行を計画し全てWeb発行の予定。印刷冊子発行は停止する。

注5. その他収入は、支部返還金が発生の場合に計上予定の項目。

注6. IPP再構築委員会の提言を踏まえ、支部運用の転換を円滑に進めるとともに、事業活動の活性化を目的として、支部間の資金調整を実施する。支部活動費の支給に先立ち、臨時の支部間協議の場を設け実施する。

第4号議案 IPP再構築WG会議報告と提案審議の件

2023年度から取り組んできたIPP再構築委員会は2年目を迎え、活動結果を報告します。会員数減少に対応し、地域限定型から全国規模へ柔軟な活動を模索して議論を重ねました。本報告では、その成果と最終提案を提示します。

- 【第1回本会合要旨】会合日：2024年8月29日（木）Zoomリモート
- ・2023年度委員会内容のおさらいをした。
 - ・会員数の減少と基金取り崩しによる運営財源の健全化が課題であり、魅力的な事業運営の必要性を確認。
- 【第2回本会合要旨】会合日：2024年9月26日（木）Zoomリモート
- ・IPPの今後のあり方を議論し、会員減少・財政課題の解決策を検討。
 - ・IPPの強み（多様な会員構成、歴史と信頼、教育基盤、ネットワーク）と課題（JPIとの違いの明確化、リソースの不均衡）を整理した。
- 【第3回本会合要旨】会合日：2024年10月31日（木）Zoomリモート
- ・支部制度の成立ちと成果（地域活動の活性化、会員間の絆形成、業界貢献）を確認。現状の課題（役員高齢化に伴う支部持続問題、リモートによる効率的運用）を抽出。
 - ・予算配分を地域イベント実施状況に基づく方式へ変更し、全国規模の効率的な運営を目指す方向付けを行なった。
- 【第4回本会合要旨】会合日：2024年11月28日（木）Zoomリモート
- ・前回方向付けした全国規模の運営案に対して、支部内議論が継続中のため、引き続き意見調整を行いながら、具体的な実施案の討議を行なった。
 - ・現行の組織図を説明後、支部制を改め一元化する新体制案が提示された。
- 【第5回本会合要旨】会合日：2025年1月30日（木）Zoomリモート
- ・検討中の支部から、「支部制見直しや廃止に全面的に反対」ではなく、ロードマップの明確化が合意形成に重要との報告。支部統合の別案が示され討議したが、元の組織一元化案に意見が集約。対面会合の新提案により、集中討議の方向性が示された。
- 【臨時会合要旨】会合日：2025年3月18日（火）Zoomリモート
- ・4月6日の対面会合を円滑に進めるために開催された。支部制統合では全体最適を重視すべきとの意見と全国一元化に前向きな姿勢が示された。対面会議当日は課題の優先順位を整理し、具体的な討議を行うべきとの意見が出された。
- 【第6回本会合要旨】会合日：2025年4月6日（日）対面会合（大阪難波にて開催）
- ・当日は10時30分～16時30分の対面討議で支部運営の現状・課題を共有し、IPPの将来提言をまとめました。理事候補確保の難しさや運営効率、会員管理、JPI連携強化、広報改善などが主な論点となり、活発な意見交換が行われました。

【再構築委員会からの提案】（次ページ参照）

- 【本部理事会の決定（総会上程）】臨時理事会の会合日：2025年5月12日（木）Zoomリモート
- ・再構築委員会の提言を受け、支部運営転換については2025年度を移行措置期間とし試行し、2026年度総会で決する。2025年度の支部活動費は定款に基づき配分率を提示し、事業計画に基づく提案（支部間の資金調整）をする。
 - ・必要な委員会（広報、地域連絡、財務・総務）を2025年度内に設置し、連携強化、新システム導入、魅力ある事業実現を図る。
 - ・財政の一本化に向けて、支部基金や使途限定積立金、繰越余剰金等の扱いについて再確認と方向性を明示し、2026年度総会で決する。
 - ・2026年度はIPP創立60周年にあたるため、IPP全体および支部運営転換とも連動させ計画し創立60周年を祝いたい。

以上

【再構築委員会からの提案】

1. 2024年度 IPP再構築委員会の目的

当会は近年、会員数減少という重要課題に直面しております。この問題を真正面から向き合い、IPPのさらなる発展と持続可能な未来を築くために、2024年度の再構築委員会は、「会員増強」を最優先課題として取り上げました。その具体的な目的(目標)は、「如何に会員減少を食い止めるか」に焦点を当て議論を重ねました。

2. 委員会で話し合われたIPPの課題

会員数の減少や理事候補不足、企業理解の乏しさなどにより支部の運営が限界に達し、情報共有や連携も不十分な状況が指摘されました。

支部と本部でメール管理が二重化されていることから、アドレス更新の遅れや配信不達が多発し、大手企業から受信を拒否される可能性も指摘されました。また、地域単位での活動が個別化しており、全国としての合理的な運営体制が求められているという意見が提出されました。こうした現状を踏まえ、以下の課題が抽出されました。

- ① 情報発信力の強化と新たな講演・セミナー機会の創出
- ② JPIとの連携強化を通じた運営効率向上
- ③ 会員管理や地域連絡、広報活動などの改善策の検討

3. 議論の経過と方向性の検討

委員会では現状の問題点を共有し、組織改革と運営体制の見直しを議論。その結果、

- ① 支部単独運営を1年程度の移行期間を経て全国一元化へ転換する。
- ② 現行事業を縮小せず維持しつつ効率化を進める。という方向性が確認されました。

4. 委員会からの提言事項

① 支部運営転換および移行措置

1年の移行期間を設け、支部運営転換を図り、新運営体制へ移行を進める。
移行期間中は、現状の事業活動は縮小せず、現場の活動維持を最優先とする。

② 全国組織としての合理化

各支部を統合し、一元管理体制を構築。全国規模の情報共有システムを検討。

③ JPI連携強化と副会長の新たな役割

JPIとの検討調整窓口を設置し、積極的なJPIとの協力体制を築く。

副会長の新たな調整・連絡役の役割を明確化し、組織間の橋渡しを担うため、JPI支部が設置されている地域に副会長を窓口責任者として数名配置する。
なお、副会長の統括責任は筆頭副会長が担う。

④ 会員管理システムの改善

現行の会員管理システムの不備を解消するため、最新の情報管理システムへの刷新を検討する。会員情報の正確な把握と迅速な連絡体制を確立する。

⑤ 地域活動連絡会の設置と新運用ルール の策定

本部に地域活動連絡会を設置し、新たなルールで各地域の活動効率を向上。

⑥ 魅力ある事業実現のためのヒアリング

会員の声を集め、ニーズに合った事業企画や改善策を検討。

⑦ 広報委員会の設置

IPPの存在および活動内容を会員、非会員、一般の方々に広く周知するため、広報事業を強化し、HPリニューアル・機関誌・メルマガ・SNSなどで活動周知。
広報委員会を新たに設置、会員には魅力ある事業参加を促進。

5. 今後の課題と展望

組織運営を合理化しながら、魅力ある事業企画と会員サービスを強化。

包装管理士としての専門性をさらに高め、業界内外への認知度を向上。

長期的にはJPIや各地域連絡会との連携を深め、持続可能な運営と会員増強を実現する。

<参考>

2024・2025年度 日本包装管理士会 役員

役 職	会員番号	氏 名	支部			
会 長	25079	古平 篤	関東			
副会長	23131	道明 誠	関西			
支部長	47016	會田慶太	北海道			
	23095	鈴木雅彦	東北			
	25079	古平 篤	関東			
	24173	北原圭介	中部			
	23260	桃川公一	関西			
	25250	末松洋亮	西日本			
理 事	31054	須藤貴行	関東			
	51368	羽馬友子	関西			
監 事	35065	山田孝志	関東			

事務局 2025年5月1日現在

事務局員 事務担当	5004	井上伸也	関東	日本包装管理士会 事務局	03-3543-9250	03-3543-8970
					ipp@pk9.so-net.ne.jp	
事務局員 会計担当	-	平野洋子	—	日本包装管理士会 事務局	03-3543-9250	03-3543-8970
					ipp@pk9.so-net.ne.jp	

事務局員／井上 個人連絡先 2024年5月1日現在

事務局員 事務担当	5004	井上伸也	関東	井上包装管理士事務所	080-5198-2964	03-3677-8042
					inoue-shinya@icom.zaq.ne.jp	

<参考>

2025年度 日本包装管理士会 機構組織図

